

介護ビジネスの未来を創る！  
**週刊高齢者住宅新聞**  
 Elderly Press Newspaper

2020年(令和2年)  
**9月9日**  
 第598号 (毎週水曜日発行)

(株) 高齢者住宅新聞社  
 〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15  
 ☎03-3543-6852(編集部)  
 発行人 網谷敏数  
 年間購読料 23,100円(送料込・税込)

ホームページ  
<https://koureisha-jutaku.com>

**TOPICS**

ニュース・総合 1・2面  
 アースサポート、小多機事業参入  
 ホスピス型住宅で3社協働

介護Biz 3~8面  
 キッチンカー 納涼祭に  
 介護・認知症予防注力の分譲住宅  
 訪問減免、都内に出店

話題のケア現場 9面  
 有老 大幅リノベーション

医療 11面  
 高齢者の皮膚疾患、薬疹回避

行政・ネットワーク 12・13面  
 特養ユニット型施設で改革案  
 エイジフレンドリー補助金Q&A

福祉 14面  
 日本コンチネンズ協会に聞く

商材・サービス 15・16面  
 嚙下サポートおやつ展開  
 介護向けデザート発売

関西 17・18面  
 介護甲子園、来年2月開催

トップインタビュー 20面  
 ソナエル 笹川泰宏社長

# 「コロナ対策加算」創設を

2021年度の介護報酬改定に向けて、議論が大詰めを迎えている。21年改定は、「ウィズコロナ」で迎える初めての改定となることも大きなポイントだが、どのような内容になるのだろうか。一般社団法人全国介護事業者連盟(以下・介事連/東京都千代田区)の斉藤正行理事長に話を聞いた。(インタビュー8月下旬時点)

特集  
**2021年 介護報酬 改定**

## 全国介護事業者連盟斉藤正行理事長に聞く

21年改定は、コロナ禍の中で迎えることになりそうです。斉藤 年内には次期改定の中身は決定すると思いますが、介護事業者は「ウィズコロナ」という前提の中で経営していくには、報酬改定においても、新型コロナの影響



一般社団法人  
 全国介護事業者連盟  
 斉藤正行理事長

により経営環境が悪化している事業者への対応を踏まえたものでなくてはなりません。一方で、新型コロナ対応と同時並行して報酬改定を迎える中で、これまでどのように議論を尽くすかは現実的に難しく、大きなマイナス改定などにはならない

定で活用されるように持っていくことが望ましいと思います。

介護保険制度創設から20年。2025年も目前に控える21年・24年改定を、どのように位置づけますか。

斉藤 20年間、3年ごとに改定する制度改正を行ってきた感覚は否めません。根幹の理念を変える必要はありませんが、抜本的な制度の見直しが必要と感じます。まさに今、新型コロナウイルスの感染拡大を起点に社会のあり様が変わっていくタイミングも迎えています。2025年が差し迫る中、2040年を見据えて、今後の20年間がどうあるべきか。先送りすることなく、現場目線に基づいた抜本改革の議論を求めます。

## 24年W改定見据えた経営へ

24年の診療報酬・介護報酬同時改定を見据えたものとして、報酬部分の思い切った改革は避け、介護事業者が着実に経営環境を整える

24年の診療報酬・介護報酬同時改定を見据えたものとして、報酬部分の思い切った改革は避け、介護事業者が着実に経営環境を整える

準備のための改定になるでしょう。しかし、「生産性の向上」「自立支援」「人材確保」「制度の持続性・適正化」などの課題に対応するために、「AIC重要視する一方で、A

## 介護付等5事業所 譲受



ソラスト  
 藤河芳一社長

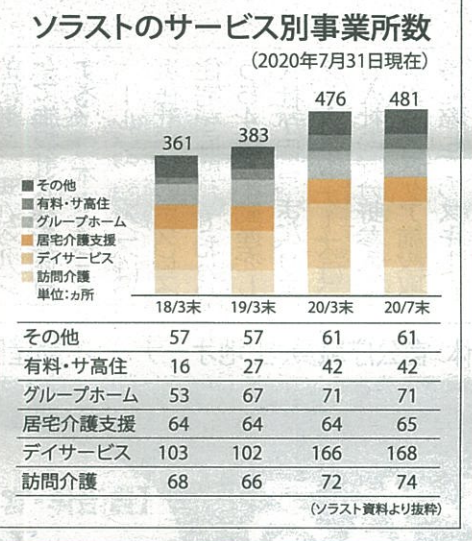
ソラスト(東京都港区)は8月31日、ライフサポート(同渋谷区)と事業譲渡契約を締結。介護付有料老人ホームとデイサービス計5事業所を譲受した。譲受日は12月1日を予定している。

今回譲り受けたのは、同江川区の介護付有料2棟、さいたま市の介護付有老2棟及び併設するデイサービス所。ソラスト

## ライフサポート、保育に集中

はすでにこれらのエリアでサービス展開をしており、より充足したサービス提供が可能になる。ライフサポートはヒノキヤグループの連結子会社

今後、新規開設による事業拡大が見込める保育事業に経営資源を集中させ



## 第8期計画へ 日程案を発表

介護給付費分科会で4日、21年度介護報酬改定に向けた今後のスケジュール案を発表した。9月以降、論点についてさらなる検討をしつつ各サービス横断事項を確認し、12月に基本的な考え方の整理及びとりまとめを実施。年明けより、諮問・答申を行う。また、9月以降に介護保険事業計画に係る基本方針を提示する。

## 9月9日以降の主な動き

- 9月9日(水)**  
 ○エス・エム・エス「訪問看護STの売上対策」月間5000件の訪問数を表現した熊本県の訪問看護ST様が登壇！～売上拡大の方法とは？組織の秘訣とは？業務をどう運用している？！徹底解説します～(オンラインセミナー)
- 9月10日(木)**  
 ○厚労省、診療報酬調査専門組織(入院医療等の調査・評価分科会)(会場/東京都港区 TKP新橋)
- 9月14日(月)**  
 ○高齢者住宅新聞社「コロナ禍における職員定着オンラインセミナー」(オンラインセミナー)  
 ○自由民主党総裁選挙
- 9月15日(火)**  
 ○社会福祉法人大阪府社会福祉協議会「第1回離職した介護福祉士等再就職支援セミナー」(会場/大阪市港区 丸善インテックアリーナ大阪)

○厚労省、第2回介護保険福祉用具・住宅改修評価検討会 (YouTube配信)

**介より 始め**

9月は世界アルツハイマー月間、中でも21日はアルツハイマーデーだ。例年、公益社団法人認知症の人と家族の会を中心に47都道府県で記念講演会などを催した。▽現在議論が進んでいるが、今年もコロナ禍で中止や延期が相次ぐ。▽個人的には、認知症基本法やGの拡大など課題が多。基本法案が未だに成立していないことにモヤモヤを感じる。理念法であるがゆえ、具体的には「認知症の予防」が大きい。具体的な施策がなければ議論の注目の何かが大きく変わっていく。認知症の課題を、認知症施策 考えていきたい。